

授業科目の区分等：基礎教育科目 人間の理解

| | | | |
|---------|----------|------------|---------------|
| 開講期間 | 配当年 | 単位数 | 科目必選区分 |
| 半期 | 1年 | 2 | 選択 |
| 担当教員 | | | |
| 石坂 公俊 | | | |
| C (商学部) | L (基礎科目) | HC (人間と文化) | 102 (基礎・入門科目) |

| | |
|--------------------------|--|
| 授業のねらい (概要) | 少子化と高齢化が同時進行している現代社会において、子育て、介護、仕事を両立するために新たな「ケアの社会化」が課題となっている。この授業では具体的な課題に触れ、解決策を検討することを主な目的とする。また家族構造の変化の中で現存の育児サービス、介護サービスはもとより、新たな子育て支援策、高齢者介護政策を理解することとする。 |
| 授業計画 | <p>第1回 【遠隔】 イントロダクション 予習 (時間) : シラバスを読み、本科目の概要及び目標を確認しておく。(60) 復習 (時間) : 配付資料の確認と毎回テストの準備。(120)</p> <p>第2回 【遠隔】 子ども家庭福祉を取り巻く状況 予習 (時間) : 毎回テストの準備 (120) 復習 (時間) : 配付資料の確認と疑問点の整理。(120)</p> <p>第3回 【遠隔】 高齢者福祉を取り巻く状況 予習 (時間) : 毎回テストの準備 (120) 復習 (時間) : 配付資料の確認と疑問点の整理 (120)</p> <p>第4回 【遠隔】 子ども家庭福祉の展開 予習 (時間) : 毎回テストの準備 (120) 復習 (時間) : 配付資料の確認と疑問点の整理 (120)</p> <p>第5回 【課題】 高齢者福祉の展開 予習 (時間) : 毎回テストの準備 (120) 復習 (時間) : 配付資料の確認と疑問点の整理 (120)</p> <p>第6回 【課題】 子ども家庭福祉行政の仕組み 予習 (時間) : 毎回テストの準備 (120) 復習 (時間) : 配付資料の確認と疑問点の整理 (120)</p> <p>第7回 高齢者福祉行政の仕組み 予習 (時間) : 毎回テストの準備 (120) 復習 (時間) : 配付資料の確認と疑問点の整理 (120)</p> <p>第8回 保育に欠ける子ども① 予習 (時間) : 毎回テストの準備 (120) 復習 (時間) : 配付資料の確認と疑問点の整理 (120)</p> <p>第9回 保育に欠ける子ども② 予習 (時間) : 毎回テストの準備 (120) 復習 (時間) : 配付資料の確認と疑問点の整理 (120)</p> <p>第10回 保育に欠ける子ども③ 予習 (時間) : 毎回テストの準備 (120) 復習 (時間) : 配付資料の確認と疑問点の整理 (120)</p> <p>第11回 介護と家族① 予習 (時間) : 毎回テストの準備 (120) 復習 (時間) : 配付資料の確認と疑問点の整理 (120)</p> <p>第12回 介護と家族② 予習 (時間) : 毎回テストの準備 (120) 復習 (時間) : 配付資料の確認と疑問点の整理 (120)</p> <p>第13回 介護と家族③ 予習 (時間) : 毎回テストの準備 (120) 復習 (時間) : 配付資料の確認と疑問点の整理 (120)</p> <p>第14回 育児と介護を支えるコミュニティ 予習 (時間) : 毎回テストの準備 (120) 復習 (時間) : 配付資料の確認と疑問点の整理 (120)</p> <p>第15回 復習・まとめ 予習 (時間) : 授業を振り返り、疑問点や理解が不十分な点をまとめておく。(120) 復習 (時間) : 授業全体の総復習。(180)</p> |
| 授業を通して身に付けることができる能力 (DP) | <p>DP (商学部) の2項目を意識した科目となっている。</p> <p>1. 職業人的倫理観を持ち、組織で協働できる能力 2. 情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢</p> <p>【身に付くスキル】 職業倫理感・生涯学習力</p> |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ●子ども家庭福祉を取り巻く様々な状況を理解できる ●高齢社会進展に伴う様々な課題等を理解できる ●子ども家庭福祉、高齢者福祉に関する法律、制度、組織、団体等を説明できる |
| 課題や小テスト等のフィードバックの方法 | 毎回行う「ふり返しテスト」は授業内で解説する。 提出されたリアクションペーパーに対してコメントする。 |
| 履修上の注意 | 定期試験を受けるためには開講回数のおよそ三分の二以上授業に出席していなければならない。 |

| | |
|------------|---|
| 成績評価の方法・基準 | 毎回ではないがリアクションペーパー（10%）、学修意欲（30%）、期末試験（60%） |
| 教科書 | 現代社会福祉の諸相（大学図書出版） |
| 参考書・教材 | 【参考書】 備考：初回授業時に紹介する |
| 備考 | 講義科目／実務家教員による授業 【課題】と設定した講義についての詳細は、別途講義内にて指示する。 |
| 教員との連絡方法 | メール（アドレスは授業内で周知） |